

WT

NEWS

6 『ワセダ発！ぶつかる社会連携』  
～大学職員による教育プログラム～

それ、ワセダがほんとうにやるんですか？  
2014年に立ち上げた「IPPO（一歩）」  
プログラム。

それは、大学が育成すべき人材像とはどのようなものか、大学職員にできることは何かを、早稲田大学の三大教旨の一つである「模範国民の造就」に立ち返って議論し、出した一つの答えでした。

社会連携推進室の職員たちが何にこだわって、何にぶつかり、何を得たのか、プロジェクトの全貌を、その企画段階から追いました。

著者 友成真一（早稲田大学理工学術院教授、早稲田大学社会連携研究所所長）  
出版社 水曜社  
単行本 220ページ  
定価 1,600円＋税

